

- 問1 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 | 2. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。 | 3. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。 | 4. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 |
|--|--|--|---|
- 問2 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる | 2. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である | 3. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された | 4. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------------|------------|-------------|
| 1. 秦 — 楚・斉 | 2. 唐 — 吐蕃・新羅 | 3. 魏 — 呉・蜀 | 4. 隋 — 陳・北周 |
|------------|--------------|------------|-------------|
- 問4 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと | 2. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと | 3. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと | 4. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと |
|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた | 2. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ | 3. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった | 4. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた |
|--|--|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 | 2. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。 | 3. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 | 4. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。 |
|---|--|--|--|
- 問7 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 | 2. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具 | 3. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 | 4. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問8 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方向後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。 | 2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。 | 3. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。 | 4. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。 |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問9 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。 | 2. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。 | 3. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。 | 4. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。 |
|--|---|--|---|
- 問10 滋賀県の古保利古墳群のように、この時期に築造された前方後円墳などの古墳文化は、当時の東アジア情勢と深く関わっています。4世紀末から5世紀にかけての、日本（倭）と朝鮮半島諸国との関係についての説明として正しいものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている | 2. 当時の日本は聖徳太子を中心に、隋に対して「日出づる処の天子」で始まる国書を送ることに専念し、半島情勢には介入しなかった | 3. 日本は高句麗と連合して百済を攻め、その見返りとして仏教の公伝を受けた | 4. 日本は新羅と強固な同盟を結び、高句麗を滅ぼして朝鮮半島北部に領土を広げた |
|--|--|---------------------------------------|---|
- 問11 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。 | 2. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。 | 3. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。 | 4. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。 |
|---|---|---|---|
- 問12 4世紀から6世紀ごろにかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に欠けていた高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 渡来人 | 2. 防人 | 3. 御家人 | 4. 遣隋使 |
|--------|-------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問2	答え 2 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である	前方後円墳は3世紀後半から造られ始め、大和政権（ヤマト王権）の拡大とともに全国へ普及しました。大阪府にある大山古墳（伝・仁徳天皇陵）のように世界最大級の規模を持つものもあり、これは当時の王の権力の強大さを物語っています。
問3	答え 3 魏 —— 呉・蜀	卑弥呼が使いを送った相手は、中国大陸の北部に位置した「魏」という国です。当時の中国大陸は、北部の魏、南東部の呉、南西部の蜀の三つの勢力が争っており、この複雑な国際情勢の中で、邪馬台国は魏との外交関係を築くことで自国の立場を安定させようとしていました。
問4	答え 2 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと	鍵穴のような特有の形状が標準化され、各地で模倣されたことは、その地域の有力者が近畿のヤマト政権と政治的な同盟関係や主従関係を結んでいたことを示しています。これにより、ヤマト政権を中心とした政治体制が広まっていたことがわかります。
問5	答え 3 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった	百済は朝鮮半島における軍事的緊張の中で大和政権と結びつき、その見返りとして先進的な技術や文化を日本へ伝えました。特に6世紀の聖明王による仏教の伝来は、その後の飛鳥文化の発展につながる歴史的な転換点となりました。他の選択肢にある半島統一は新羅の役割であり、金印の授与は中国の王朝との関係です。
問6	答え 3 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。
問7	答え 4 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器	須恵器は、朝鮮半島から伝わった「穴窯（あながま）」という設備を使い、酸素が少ない状態で高温調理（蒸し焼き）にするため、特有の灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器（はじき）は、古墳時代以前からの伝統的な手法である「野焼き」で作られていたため、赤褐色をしています。
問8	答え 4 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。	大仙古墳に代表される巨大な前方後円墳が造られた5世紀は、大和政権の王（倭王）が自らの権威を内外に示すために、中国の南朝へ朝貢した時期と重なります。この時期の外交は、朝鮮半島での軍事的な立場を強化し、鉄器の材料となる鉄資源の供給源を確保することが大きな目的の一つでした。
問9	答え 3 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。	前方後円墳は、日本独自の古墳形式であり、その分布は北は東北地方から南は九州地方にまで及んでいます。これは、各地の豪族がヤマト王権を中心とする政治秩序に参加していたことを意味します。装飾古墳は内部に彩色や彫刻があるものを指し、円墳や方墳はより一般的な形状ですが、前方後円墳ほどの政治的象徴性は持ちません。また、古墳はあくまで豪族の墓であり、役所の目印ではありません。
問10	答え 1 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている	当時の日本（倭）は、鉄資源の確保や先進文化の導入を求めて朝鮮半島南部への進出を図りました。高句麗にある好太王碑には、南下政策を進める高句麗と、百済や加羅を支援して戦った倭の軍勢についての記録が残されており、当時の激しい抗争の様子が裏付けています。
問11	答え 3 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問12	答え 1 渡来人	朝鮮半島での戦乱を逃れるため、あるいは大和政権による招きに応じて日本列島にやってきた人々です。彼らは養蚕、機織り、金属加工、土木技術のほか、漢字や儒教、仏教といった学問や宗教も伝え、古代日本の国家形成に大きな影響を与えました。